

東広島市公共下水道

東 広 島 市

令和 5 年 1 月 23 日

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和05年01月23日

計画の名称	東広島市公共下水道												
計画の期間	令和05年度 ~ 令和06年度 (2年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	東広島市												
計画の目標	・下水道事業実施に必要となる汚水適正処理構想等の各種計画について、策定及び見直しを実施することで、適正及び効率的な事業実施を目指します。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	100	A	100	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R5末	R6末
1	・下水道事業の実施に必要となる各種計画の策定(見直し)率を0%(R5当初)から100%(R6末)に増加させる。 下水道事業の実施に必要となる各種計画の策定(見直し)率 策定(見直し)済計画数(計画) / 策定(見直し)必要計画数(計画)	0%	67%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	東広島市	直接	東広島市	-	-	下水道計画策定	下水道計画策定、見直し	東広島市						100	-	
											小計						100		
											合計						100		

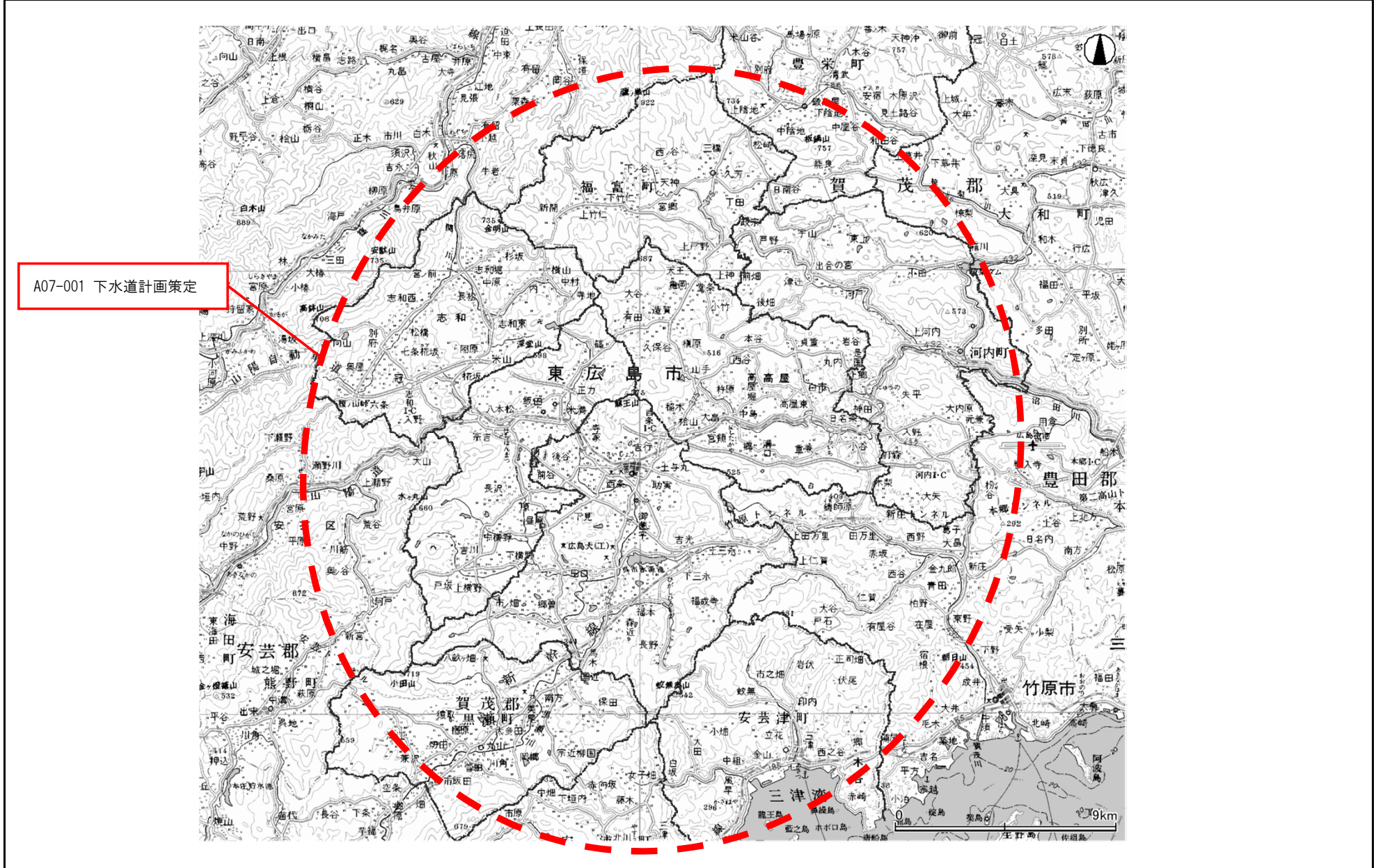
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R5	R6			
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	東広島市公共下水道	交付対象	東広島市
計画の期間	令和5年度～令和6年度（2年間）		



事前評価チェックシート

計画の名称： 東広島市公共下水道

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と事業との関係	
I. 目標の妥当性 1) 事業による目標達成の可能性が高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性
円滑な事業執行の環境

I. 目標の妥当性

1) 事業実施のための環境整備が図られている。

○